

MEDICINOVA
株主通信 Vol.10
中間決算のご報告
(2011年1月1日～2011年6月30日)

VOICE

Patients voice, Our choice.

笑顔のために…

みんなの笑顔をつくることができると、私共は信じています。



MEDICINOVA
メディシノバ

^{やまい}
**病に苦しむ世界中の患者さんのために、新薬を創り、届けること。
それがメディシノバの使命です。**

日本のすぐれた創薬技術をいかして、
安全で有効な新薬を世界へ届ける…
患者さんの笑顔をつくるのが、私達の仕事です

会社理念

十分な治療法がまだ確立していない疾病を患う
世界中の患者さんに、よりよい治療を提供することにより
社会に貢献すること

基本経営方針

理念を具現すべく、こうした疾病の問題を改善する
医薬品の導入、開発、販売を手がける
グローバルな製薬会社を目指すこと

キッセイ薬品工業株式会社よりMN-221の開発資金7.5百万米ドルを第三者割当増資にて調達、さらにはMN-221の米国における2つの臨床試験を共同で実施する契約を締結いたしました。

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

株主通信Vol.9以降の重要事項といたしましては、特にコア開発品MN-221に関して多くの進展がありました。

まず始めに、MN-221（喘息の急性発作及びCOPD治療薬）のライセンサーであるキッセイ薬品工業株式会社（以下：キッセイ薬品）を引受先とする第三者割当増資を9月に発表し、7.5百万米ドルの資金調達を行ったことをご報告いたします。この資金はすべてMN-221の開発資金に充当し、開発のスピードアップを図ります。

さらに10月、キッセイ薬品とMN-221に係わる臨床試験を一部共同で実施する内容の共同開発契約を締結いたしました。MN-221は、2004年に日本を除く全世界における開発及び販売についてキッセイ薬品から独占的なライセンスを取得し、今日まで米国にて喘息の急性発作、COPD等を適応症とした臨床開発を行ってきた当社の最重要コア開発品です。当社にとっては、MN-221のQTc試験とCOPDのフェーズ1b試験という2つの臨床試験費用のうち2.5百万米ドルをキッセイ薬品に費用負担いただくことによりコスト削減が図れます。一方、キッセイ薬品にとっては、MN-221の急性喘息発作及びCOPD適応による日本国内における開発可能性を検証する有用な情報を得るという目的があり、双方にとってメリットのある内容となっております。

また、現在進行中の気管支喘息急性発作患者を対象とした大規模フェーズ2臨床試験におきましては、救急病院で発作状態にある方を対象とする難易度の高い臨床試験であり、かつ来院患者数の増減に季節性もあることから、計画より時間がかかっておりますが、年内の患者登録完了を目指しております。

中国の大手製薬企業である浙江医薬股份有限公司 (Zhejiang Medicine Co., Ltd.) との合併会社設立に関しては、6月末に合併事業契約を締結し、10月には中国の商務部より中国に合併会社を設立することについての承認がございましたのでご報告申し上げます。

もう一つのコア開発品のMN-166 (AV411) に関するニュースとしては、薬剤過剰投与に起因する頭痛を適応とするフェーズ2臨床試験をオーストラリア、アデレード大学臨床薬理学研究室のRolan教授と共同で行うことになりました。当社は、薬剤の提供及び薬事関連のサポートを行います。

今後も、株主の皆様のご期待に応えられるよう社員一同、臨床開発、導出活動に邁進する所存でございます。株主の皆様には、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

代表取締役社長兼CEO
(最高経営責任者)

岩城 裕一



キッセイ薬品とMN-221の臨床試験共同実施契約を結びました。

試験の成果を両社の共同所有に

メディシノバは2011年10月13日、キッセイ薬品工業株式会社との間で、当社のコア開発化合物MN-221に係わる臨床試験を一部共同で実施する契約を締結しました。本契約は、当社が米国で実施するMN-221のQTc試験*及びCOPDでのフェーズ1b試験の費用の一部として、キッセイ薬品から計250万米ドル(約193百万円)を得るものです。両試験の成果は両社の共同所有となり、当社は、当社テリトリーにおける本剤の承認申請データとして、キッセイ薬品は、日本国内における本剤の開発可能性を検証するためのデータとして活用できます。

MN-221のさらなる進捗に期待

MN-221はキッセイ薬品が創製した薬剤で、当社は2004年に同社から日本を除く全世界における開発及び販売の独占的なライセンスを取得し、米国で喘息の急性発作、COPD等を適応症とした臨床開発を実施しています。一方、キッセイ薬品は、同社が権利を保有する日本におけるMN-221の喘息の急性発作及びCOPDの適応による開発可能性を検証するために、有用な情報を得ることを望んでいます。

今回の契約締結により、MN-221の開発がさらに進捗し、両社の利益に資することを期待しています。

*QTc試験：安全性を確認する臨床薬理試験の一つで、薬物の心電図に対する影響を確認する試験です。米国食品医薬品局(FDA)が米国で販売を予定する新薬に対して一般的に実施を求めています。

注)米ドルの日本円への換算は、1ドル=77.17円(2011年10月13日現在の三菱東京UFJ銀行の対顧客外国為替相場仲値)に基づく値を便宜上適用しています。

KISSEI

キッセイ薬品工業株式会社について

キッセイ薬品工業株式会社は、1946年に「株式会社橋生化学研究所」として長野県松本市で設立された医療用医薬品メーカーです。泌尿器、透析、Women's Health、眼科、そしてUnmet Medical Needs(未だ有効な治療方法がない医療ニーズ)を研究・開発コア領域に、独創的な新薬の開発に取り組む“創薬研究開発型企業”です。

【会社概要】(2011年9月現在)

本社	長野県松本市芳野19番48号
東京本社	東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号
東京本社 (小石川)	東京都文京区小石川3丁目1番3号
設立	昭和21年(1946年)8月9日
従業員	1,600名
資本金	243億56百万円(東証一部上場)
代表者	代表取締役社長 神澤 陸雄
支店	国内12カ所
営業所	国内44カ所
関連施設	中央研究所(長野県安曇野市)、製剤研究所(同)、第二研究所(同)、上越化学研究所(新潟県上越市)、工場(長野県松本市、塩尻市)、ヘルスケア事業センター(長野県塩尻市)、海外子会社(米国ニュージャージー州)



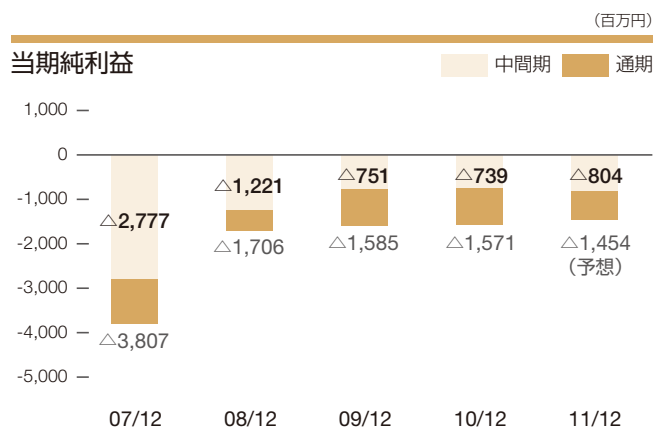
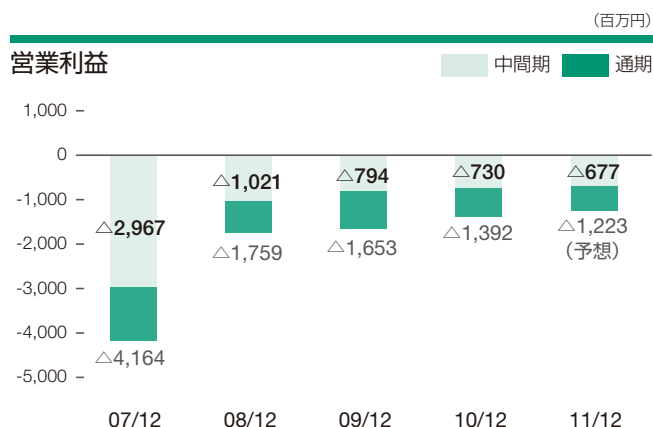
▲キッセイ薬品 中央研究所

 **キッセイ薬品工業株式会社**

営業損失、純損失ともに予実対比で減少。 MN-221 (CL-007)の費用発生遅れ、借入金返済関連費低減で。

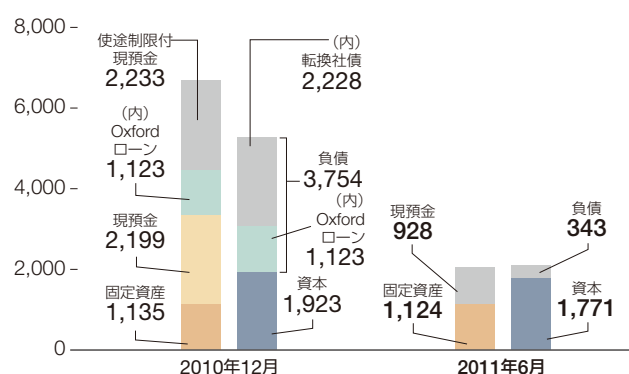
当上期の決算は前下期比で、営業損失が4.6% (約0.2億円) の減少、純損失が3.3% (約0.3億円) の減少となりました。また、2011年5月17日発表の上期業績予想に対しては、営業損失が6.6% (約0.5億円) の減少、純損失が13.0% (約1.2億円) の減少となりました。

これは、MN-221喘息急性発作治療薬のフェーズ2臨床試験 (CL-007) の費用の発生が想定より遅れたこと (予実対比約0.5億円減少)、Oxford Financeからの長期借入金一括返済に関連する費用を想定より少なく押さえることができたこと (同約0.7億円減少) が主な要因です。



資産の内訳

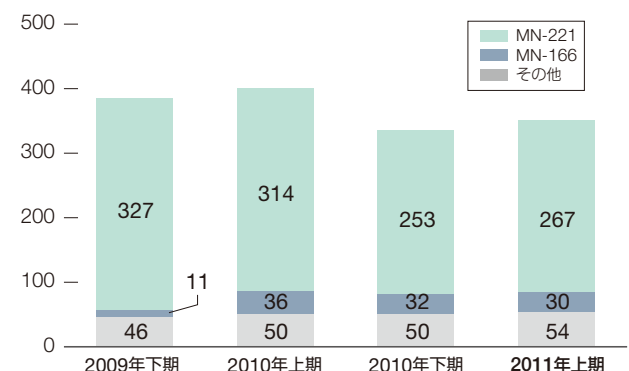
(百万円/単位未満切捨て)



	2010年12月	2011年6月	増減
広義の現金(百万円)	2,199	928	△1,271
資本合計(百万円)	1,923	1,771	△152
1株当たり純資産(円)	155	116	△39
1株当たり広義の現金(円)	176	61	△115
JASDAQ市場時価総額(百万円)	5,105	3,663	△1,442

研究開発費の推移

(百万円/単位未満切捨て)










2011年上期研究開発費内訳

(百万円/単位未満切捨て)

開発品	費用	開発品	費用
MN-221 気管支喘息急性発作	267	MN-029 固形癌	3
MN-166/AV411 多発性硬化症/その他CNS	30	MN-246 尿失禁	0
MN-001 気管支喘息	2	MN-447/MN-462 抗血栓	3
MN-305 全般性不安障害	0	その他	54
MN-001 間質性膀胱炎	1		
MN-221 切迫早産	0		
開発費合計		363	

注)メディシノバは米国企業で実際の決算は米ドルベースで行われておりますが、便宜上、三菱東京UFJ銀行の2011年7月29日現在の対顧客電信直物相場から算出した仲値1ドル=77.85円にて円換算しております。

製品候補	パートナー	前臨床	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
コア開発品					
MN-221 気管支喘息急性発作 慢性閉塞性肺疾患(COPD)		慢性閉塞性肺疾患(COPD)		気管支喘息急性発作	
MN-166(イブジラスト) 疼痛、多発性硬化症 依存症		依存症		疼痛、多発性硬化症	
ノンコア開発品					
MN-001 気管支喘息					
MN-305 全般性不安障害					
MN-001 間質性膀胱炎					
MN-221 切迫早産					
MN-029 固形癌					
MN-246 尿失禁					
MN-447 & MN-462 抗血栓					

Topics

トピックス 1

イブジラストの薬剤誘発性頭痛を適応とする フェーズ2臨床試験を開始します。

頭痛・疼痛研究の専門家、ローラン博士と共同で

メディシノバではこのたび、頭痛を対象としたイブジラストのフェーズ2臨床試験をポール・ローラン医学博士と共同で行うことになりました。

ローラン博士は、オーストラリアのアデレード大学臨床薬理学研究室の頭痛及び疼痛研究の専門家で、今回、薬剤過剰投与に起因する頭痛（以下、薬剤誘発性頭痛）をイブジラスト（MN-166/AV411）で治療できる可能性が考えられたため、フェーズ2の臨床試験を開始することになりました。ローラン博士は以前にも、慢性神経因性疼痛を適応とするフェーズ1b/2a臨床試験において、当社子会社ア

ヴィジェン社との共同研究を行っています。

治験責任医師主導（費用も治験医師の資金で行う）による薬剤誘発性頭痛適応の本臨床試験は、すでに政府による必要な審査を終えています。当社は、薬事関連のサポートを行い、使用する薬剤とプラセボのカプセルを供与します。

副作用の少ない治療薬として期待

薬剤誘発性頭痛は、緊張型頭痛、偏頭痛に続き3番目に多いタイプの頭痛で、慢性症状を呈し、成人の1～2%に症状があると推定されています。コデインのようなオピオイド鎮痛薬を要因とする脳及び脊髄の痛みを感じる経路

の過剰活性並びに、脳内部のグリア細胞の活性化の相乗作用によって引き起こされると考えられています。

イブジラストが薬剤誘発性頭痛に効果があると仮定したのは、イブジラストはグリア細胞の活性化のアテニューエーターとして広く知られており、臨床試験においてもオピオイド鎮痛薬の離脱症状に対する効果が認められているからです。薬剤誘発性頭痛はエビデンスに基づいた治療法があまり確立していないうえ、従来の治療薬には、認知作用及び鎮静作用に対する深刻な副作用がありました。慢性疼痛の一因としてグリア細胞の果たす役割についての最近の素晴らしい研究結果に基づいたイブジラストの利用が、副作用の少ない薬剤誘発性頭痛薬への二

ズを充たすことが期待されています。

40人以上を対象に8週間、治療後の発症も評価

今回のフェーズ2臨床試験は、少なくとも40人以上の患者を対象とし、無作為に選んで同数に分けた患者に対して、8週間にわたり、プラセボまたは1日80mgのイブジラスト (PinatosR徐放カプセルを使用) を投与する二重盲検比較方式で行います。検査項目には、通常の頭痛調査に使用する定量的感覚検査(QST)のほか、血しょう及び血球のバイオマーカーを含みます。頭痛に関する評価項目として、さらに治療後6カ月の発症も評価します。

新株発行による資金調達でMN-221の開発を加速します。

メディシノバは2011年9月27日、キッセイ薬品工業株式会社を引受先とする第三者割当による新株式発行について同社と新株引受契約書を締結し、10月13日に払込手続きを完了しました。

当社は、コア開発化合物MN-221の開発を推進し、早期に事業化することによって事業基盤を強化することが必要であり、そのためには開発資金の調達が不可欠と考えています。今回の新株発行による調達資金は、MN-221の今後の喘息の急性発作及びCOPDを適応症とした開発経費に充当します。資金調達により、現在進行しているMN-221の米国における臨床試験を推進し、開発スピードをさらに上げることが可能となります。

なお、キッセイ薬品との協議により、普通株式と議決権のない優先株式の組み合わせによる新株発行としています。優先株式は発行価格、議決権、転換条件等を考慮しても普通株に対し特段有利な内容ではなく、既存株主、キッセイ薬品、当社の三者にとってデメリットのない普通株・優先株の組み合わせとなっています。また増資により、キッセイ薬品の当社に対する議決権割合は4.97% (潜在株式未反映)となりました。

1. 募集株式の発行の概要

- ①発行新株式数 普通株式800,000株
優先株式220,000株
- ②払込金額 普通株式1株2.5米ドル(191.6円)
優先株式1株25米ドル(1,916円)
- ③払込金額の総額 普通株式分2,000,000米ドル(153,280,000円)
優先株式分5,500,000米ドル(421,520,000円)

- ④増加する資本金及び資本準備金の額
普通株式分800米ドル(61,312円) (1株当たり0.001米ドル(0.077円))
優先株式分2,200米ドル(168,608円) (1株当たり0.01米ドル(0.77円))
- ⑤募集方法 第三者割当
(割当先)キッセイ薬品工業株式会社
- ⑥申込期日 2011年10月13日
- ⑦払込期日 2011年10月13日

2. 今回の第三者割当増資による発行済株式総数(議決権ベース)及び資本金の額の推移

- ①増資前の発行済株式総数 15,285,706株
(資本金 15,327.6米ドル(1,174,707円))
- ②増資による増加株式数 800,000株
(増加する資本金 800米ドル(61,312円))
- ③増資後の発行済株式総数 16,085,706株
(資本金 16,127.6米ドル(1,236,019円))
- ④優先株式転換による増加株式数 2,200,000株
(増加する資本金 2,200米ドル(168,608円))
- ⑤優先株式転換後の発行済株式総数 18,285,706株
(資本金18,327.6米ドル(1,404,627円))

3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期

- ①調達する資金の額
払込金額の総額 7.5百万米ドル(5.75億円)
発行諸費用の概算 0.2百万米ドル(主に弁護士費用) (0.15億円)
差引手取概算額 7.3百万米ドル(5.60億円)
- ②調達する資金の具体的な使途
MN-221の今後の喘息の急性発作及びCOPDを適応症とした開発経費に充当
- ③調達する資金使途の合理性に関する考え方
上記差引手取概算額7.3百万米ドル(5.6億円)は、当社のコア開発化合物MN-221の開発経費に充当することで企業価値の向上につながるものであり、合理性があるものと考えています。
- ④支出予定時期
2011年11月より、MN-221の喘息の急性発作及びCOPDを適応症とした開発経費に随時充当していきます。

注)米ドルの日本円への換算は、1ドル=76.64円(2011年9月26日現在の三菱東京UFJ銀行の対顧客外国為替相場仲値)に基づく値を便宜上適用しています。

中華人民共和国における合併会社設立が承認されました。

早期の治験許可申請へ

メディシノバは、中華人民共和国でのMN-221の開発及び販売を目的とした合併会社の設立について、2011年6月29日に浙江医药股份有限公司 (Zhejiang Medicine Co., Ltd.) との間で合併事業契約を締結。10月10日に中華人民共和国商務部により最終承認されました。

合併会社は、中国におけるMN-221の臨床試験を開始するため、早期のIND(治験許可申請)の出願を目指します。

中国事情がMN-221にとって好条件に

中国では、都市化や欧米型のライフスタイルの浸透により、今後10年間で喘息の有病率が飛躍的に上昇すると予想されています。人口の多い中国で有病率が2%アップすると、患者数はおよそ2,000万人増える計算になります。特に都市部では、地方からの人口の流入などから喘息の有病率が極めて高く、また、より容易に医療サービスが受けられることもあり、「喘息」の診断が今まで以上に増加しています。将来的には、喘息による救急施設の利用が大幅に増えると考えられています。

また、増え続ける中流家庭層に自家用自動車がさらに普及すれば、喘息の急性発作を誘発する大気汚染がますます深刻化すると予想されます。さらに中流階級層の人々はより優れた医療と医薬品を求めており、この層の増加に伴い、割高な医薬品を購入する余裕のある層が人口全体に占める割合も高くなります。

これらの要因すべてが、中国がMN-221の魅力的なマーケットであることを示しています。

喘息による死亡率は世界屈指

世界疾病負担(喘息)のレポートによると、中国から台湾、モンゴルに至る地域における喘息患者の数は2,780万人に及ぶと推定されています。この地域の患者の3分の1以上が、喘息発作による救急施設での治療や入院を必要としています。また、喘息による死亡率の高さは世界屈指で、この地域での喘息がもたらす負担の深刻さを物語っています。

こうした背景から当社は、MN-221を中国で開発・販売することの社会的意義も非常に大きいと考えています。

浙江医药股份有限公司(Zhejiang Medicine Co., Ltd.)とは

中国有数の製薬企業で、世界的にもビタミンなどのサプリメントを供給する企業として知られています。2010年の売上高は4,558百万元(58,333百万元)にのぼります。同社は2008年11月、中国の科学技術省から新薬開発に関わる6大ビジネスインキュベーターの一社に指定されました。現在、中国国内市場に向けて上市する新薬の研究開発に注力しており、中国で興りつつある製薬業界において、同社はそのリーダーとなる準備を整えているといえます。



医药工並研究院

主なハイライト

- 浙江医薬 (Zhejiang Medicine Co., Ltd.) との中国合弁会社設立の基本合意を発表
- MN-166、AV411 (イブジラスト) の薬物依存症適応を対象とする特許(米国)承認を発表
- 米国における米国発行登録制度に基づいた公募増資を発表
- Oxford融資一括返済完了
- 米国における米国発行登録制度に基づいた新株発行枠設定およびこれに基づく新株発行 (At -The-Market 販売代理契約)
- 中華人民共和国における合弁会社設立に関する契約締結
- MN-166、AV411 (イブジラスト) の薬剤誘発性頭痛を適応とするフェーズ2臨床試験への共同参画
- マイケル・ジェナーロ氏のCFO就任及び松田和子氏のチーフ・メディカル・オフィサー (CMO) 就任を発表
- 泉辰男氏の取締役就任を発表
- 第三者割当による新株発行
- 中国における合弁会社設立に関する承認取得を発表
- MN-221に係わる臨床試験共同実施契約締結
- At -The-Market 販売代理契約解約

2011年
1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

IR説明会ハイライト

日本証券新聞社主催 個人投資家向けセミナー(名古屋)



平成22年12月期決算説明会(東京)

(株)全国賃貸住宅新聞主催
賃貸住宅フェア内 株式投資フェア出展・セミナー(京都)

(株)全国賃貸住宅新聞主催
賃貸住宅フェア内 株式投資フェア出展・セミナー(香川)

(株)全国賃貸住宅新聞主催
賃貸住宅フェア内 株式投資フェア出展・セミナー(大宮)

(株)全国賃貸住宅新聞主催
賃貸住宅フェア内 株式投資フェア出展・セミナー(福岡)

(株)全国賃貸住宅新聞主催
賃貸住宅フェア内 株式投資フェア出展・セミナー(東京)

(株)全国賃貸住宅新聞主催
賃貸住宅フェア内 株式投資フェア出展・セミナー(名古屋)

日本証券新聞社主催 個人投資家向けセミナー(札幌)



(株)全国賃貸住宅新聞主催
賃貸住宅フェア内 株式投資フェア出展・セミナー(大阪)

Management Team

経営陣

執行役



岩城 裕一

代表取締役社長兼CEO(最高経営責任者)

ピッツバーグ大学教授、南カリフォルニア大学教授
歴任、ジャフコ、日本政策投資銀行顧問、アヴィジェ
ン取締役



マイケル・コフィー

チーフ・ビジネス・オフィサー

アヴィジェンチーフ・ビジネス・オフィサー、アダムス・
ファーマスーティカルス販売・マーケティング担当
上席副社長



カーク・ジョンソン

副社長兼CSO(最高科学責任者)

アヴィジェン研究開発担当副社長、ジェネソフト・
ファーマスーティカルス薬理学・前臨床研究専務取
締役及び上級執行役



マイケル・ジェナーロ

CFO(最高財務責任者)

公認会計士、国際公認会計士事務所アーサー・ヤン
グ&Co



岡島 正恒

東京事務所代表、副社長

大和証券SMBC、住友キャピタル証券、住友銀行



松田 和子

CMO(最高医学責任者)

小児科医師、南カリフォルニア大学及びカーク医科
大学助教歴任

取締役



ジェフ・ヒマワン

取締役会長

エセックス・ウッドランズ・ヘルス・
ベンチャーズ社
マネージング・ディレクター



アーリーン・モリス

取締役

アフマックス社 前社長兼CEO



繁田 寛昭

取締役

ザ・メディシズ・カンパニー
取締役



泉 辰男

取締役

下記参照



岩城 裕一

取締役

上記参照

新執行役/取締役のご紹介

このたび新たに2名の執行役と1名の取締役が当社の経営陣に加わりました。株主の皆様には何とぞご支援を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。



マイケル・ジェナーロ

略歴

2011年9月2日に現職就任。
ラトガーズ経営大学院にて
MBA、ラトガーズ大学にて
数学の学士を取得。ニュー
ジャーシー州及びカリフォルニア州の公認会計士
の資格を持ち、国際公認会計士事務所アーサー・
ヤング&Coでキャリアをスタート。25年以上にわ
たり、多種にわたる科学技術系の公的機関または
私企業でCFOまたは財務担当副社長を務めた実
績を持つ。



松田 和子 略歴

2011年9月2日に現職就任。
札幌医科大学にて医学博士を
取得。ハーバード大学公衆衛
生学部にて公衆衛生学修士取
得。日米両国の小児科医師免
許を持つ。ミシガン州立大学にて内科、小児科の
レジデンスを修め、さらにロマ・リンダ大学で
小児科レジデンスを完了した(日本でも研修完
了)。南カリフォルニア大学、カーク医科大学で助
教授を歴任し、その後ロサンゼルス小児病院で
小児科医として活躍。2005年メディシノバ コン
サルタント就任、2009年メディシノバ入社。



泉 辰男 略歴

2011年9月26日に現職就任。
1955年小樽商科大学短期大
学部卒業。税理士資格、宅地
建物取引主任資格、司法書士
資格、社会保険労務士資格を
それぞれ取得。2002年税理士法人First Ocean
View 設立、2003年司法書士法人First 設立、
2007年 T&YコンサルタントLLPのCEO就任。

貸借対照表

(百万円/単位未満切捨て)

科目	前期末 (2010年12月)	当中間期 (2011年6月)	増減額
資産の部			
流動資産	4,542	990	△3,552
固定資産	1,135	1,124	△11
資産合計	5,677	2,114	△3,563
負債の部			
流動負債	2,864	191	△2,673
固定負債	890	152	△738
負債合計	3,754	343	△3,411
純資産の部			
株主資本	1,927	1,775	△152
資本金	1	1	0
資本剰余金	22,847	23,500	+653
開発段階での累積欠損	△20,828	△ 21,632	△805
自己株式	△93	△ 93	0
評価・換算差額等	△4	△ 4	0
純資産合計	1,923	1,771	△152
負債及び純資産合計	5,677	2,114	△3,563

損益計算書

(百万円/単位未満切捨て)

科目	前下期 (2010年7月~2010年12月)	当上期 (2011年1月~2011年6月)	増減額
営業収益	—	—	—
営業費用	730	677	△53
営業利益	△730	△ 677	+53
営業外損益	△8	△ 127	△119
税金等調整前四半期純利益	△739	△ 804	△65
税金費用	—	—	—
四半期純利益	△739	△ 804	△65

キャッシュ・フロー計算書

(百万円/単位未満切捨て)

科目	前下期 (2010年7月~2010年12月)	当上期 (2011年1月~2011年6月)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△578	△ 730
投資活動によるキャッシュ・フロー	947	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143	△ 540
現金及び現金同等物の増減	225	△ 1,271
現金及び現金同等物の期首残高	1,974	2,199
現金及び現金同等物の期末残高	2,199	928

CHECK POINT

現金及び現金同等物約9.2億円を有し、2012年6月30日までの予定された研究開発費を十分にカバーしています。

CHECK POINT

2011年6月18日に転換社債の償還を迎え、償還金として留保していた使途制限付現預金約22.3億円が減少しました。また、Oxford Financeからの長期借入金（元本、未払利息、その他費用を含め約11.8億円）の一括返済、営業活動における約7.2億円の資金使用及びこれを米国での公募増資による約6.2億円増加で相殺したことを主要要因として、現金及び現金同等物が約12.7億円減少しました。

CHECK POINT

Oxford Financeからの長期借入金一括返済で約11.2億円減少しました。また、アヴィジェン社買収時に発行した転換社債が2011年6月18日に償還を迎え、転換社債が約22.3億円減少すると同時にアヴィジェンMTP約0.5億円も清算され、合計約22.8億円が減少しました。この結果、有利子負債がゼロとなりました。

CHECK POINT

開発段階での累積欠損が約8.0億円増加し、米国での公募増資、転換社債の転換行使及びストックオプション行使により払込剰余金が約6.5億円増加しましたが、株主資本合計は約1.5億円の減少となりました。

CHECK POINT

MN-221気管支喘息急性発作治療薬の大規模フェーズ2臨床試験の患者登録数増加に伴い、研究開発費が約0.2億円増加しました。

CHECK POINT

Oxford Financeからの長期借入金一括返済に関連する費用が発生し、借入金関連費用除却損が約0.4億円増加しました。一方、同返済に伴い支払利息が約0.2億円減少しました。また、投資有価証券評価損が約0.6億円減少しました。これは、2010年に処理が完了したARSに関連する投資有価証券評価損益が2011年上期に発生しなかったことによるものです。

注)米国会計基準に準拠した財務諸表の科目を一部変更しております。三菱東京UFJ銀行の2011年7月29日現在の対顧客電信直物相場から算出した仲値1ドル=77.85円で円換算しております。

Stock Information

株式の状況

発行可能株式総数 **30,500,000**株(2011年4月19日現在)
発行済株式の総数 **15,290,839**株(2011年9月30日現在)
(自己株式41,909株を含む)

純資産 **21億14**百万円(2011年6月30日現在)
株主数 **6,528**名(2011年4月19日現在)

[大株主] (2011年4月19日現在)

株主名	所有株式数(株)	発行済株式数に対する 所有株式数の割合(%)
エセックス・ウッドランド・ヘルス・ベンチャーズ・ファンド VI・エルピー	1,170,370	7.64
ベンソン・フィナンシャル・サービス・インク/Ridge	853,186	5.57
イワキ・ファミリー・リミテッド・パートナーシップ	693,972	4.53
泉 辰男	570,200	3.72
ナショナル・フィナンシャル・サービス	532,807	3.48



株主メモ

証券コード JASDAQスタンダード 4875

決算期 12月31日

売買単位 100株(JASDAQスタンダード)

株式事務取扱機関 大阪府大阪府中央区北浜4丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都府中市日鋼町1番10号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

株主名簿管理人 American Stock Transfer & Trust Company
(アメリカン・ストック・トランスファー・アンド・トラスト・カンパニー)
6201 15th Ave. Brooklyn, NY 11219, USA
電話 +1(718)921-8217
E-mail ssilber@amstock.com

